

令和4年度 苫小牧市東開文化交流サロン 管理運営実績シート

内容	計画及び実績等		
事業計画概要	<p>●実施事業内容                      (1)サロン運営 (2)図書室管理 (3)カフェ運営 (4)講座運営                      (5)ボランティア (6)ギャラリースペースの活用</p> <p>●自主事業内容                      (1)障がい者の就労継続支援 A 型事業 (2)障がい者の就労継続支援 B 型事業</p>		
事業計画の内、未実施の事業	なし		
利用実績	目 標		実 績
	<p>【来館者】 21,500 人</p> <p>【図書】 貸出人数 5,607 人 貸出冊数 22,434 冊</p> <p>【貸室】 利用人数 7,500 人</p> <p>【カフェ】 利用人数 2,800 人 売 上 193,000 円</p> <p>【講座】 各回 10 人程度</p> <p>【ボランティア】 参加人数 10 人</p>	<p>【来館者】 20,843 人</p> <p>【図書】 貸出人数 3,016 人 貸出冊数 13,349 冊</p> <p>【貸室】 利用人数 1,047 人</p> <p>【カフェ】 利用人数 2,768 人 売 上 1,549,480 円</p> <p>【講座】 ●12 月開催 4 回 49 人 ●1 月開催 4 回 60 人 ●2 月開催 5 回 86 人 ●3 月開催 4 回 53 人</p>	
利用者満足度	利用者アンケート結果		
	満足	79.7%	やや不満 1.4%
	やや満足	9.4%	不満 0.0% 無回答 9.5%
事業費(自主事業を除く総額)	収 入		
	費目	予算	決算
	指定管理費	15,024,000 円	15,024,000 円
	利用料金収入	271,000 円	132,010 円
	カフェ売上	193,000 円	1,570,315 円
	自主事業収入(充当分)	1,052,000 円	1,641,426 円
合計	16,540,000 円	18,367,751 円	

	支 出		
	費目	予算	決算
	人件費	10,553,000 円	11,392,179 円
	光熱水費	2,344,000 円	1,412,515 円
	修繕費	109,000 円	0 円
	委託費	1,719,000 円	1,385,699 円
	その他	1,815,000 円	1,419,699 円
	合計	16,540,000 円	15,610,092 円
自主事業内容	計 画	実 績	
	【多機能型事業所東開町 2 丁目】 ●就労継続支援 A 型  ●就労継続支援 B 型	【多機能型事業所東開町 2 丁目】 ●就労継続支援 A 型 実人数 5 人 延べ利用 293 人  ●就労継続支援 B 型 実人数 2 人 延べ利用 41 人	
自主事業計画の内、未実施の事業	なし		
職員研修等の実施内容	計 画	実 績	
	【個人情報保護研修】 【サービスマナー研修】 【苦情・事故緊急事態研修】 【感染症・食の安全研修】 【人権擁護・ハラスメント研修】 【共生型事業研修】 【感染症対策研修】 【防災、防犯研修】 【救命救急講習】 【障がい者虐待防止研修】	【個人情報保護研修】 【サービスマナー研修】 【苦情・事故緊急事態研修】 【感染症・食の安全研修】 【人権擁護・ハラスメント研修】 【共生型事業研修】 【感染症対策研修】 【防災、防犯研修】 【救命救急講習】 【障がい者虐待防止研修】 【あいサポート研修】	
配置人員	計 画	実 績	
	館長 1 名 正規 コーディネーター 1 名 正規 受付見守支援員 6 名 正規/パート 図書室運営責任者 1 名 正規 図書室スタッフ 2 名 正規 カフェ店員 6 名 正規/パート	館長 1 名 正規 コーディネーター 1 名 正規 受付見守支援員 6 名 正規/パート 図書室運営責任者 1 名 正規 図書室スタッフ 2 名 正規 カフェ店員 6 名 正規/パート	
指定管理者独自で行った工夫、取組等	○見守り支援員による声掛けや地域活動コーディネート ・来館する地域住民との関係性構築を進め、一緒に来館者をもてなすイベントを企画実施 ・子どもたちと一緒に近隣のゴミ拾い、「あいサポキッズ研修」を企画実施。		

	<p>○コーディネーター等による地域資源との多機関協働</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東地域包括支援センターとの協働による、「手つなぎネット」の開催支援。</li><li>・「あいサポーター研修」の開催協力等。</li><li>・東開町内会との協働による、子どもたち対象の「昔遊び体験会」の実施。</li></ul> <p>○館内スペースの供用による来館者同士の自然な交流の創出</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・館内設備をどなたでも利用できる居場所として一部開放し、お子さん連れの保護者や、小中学生、受験勉強中の高校生、地域住民など、さまざまな人がサロンに来館し、関わり合うきっかけの場づくりが出来た。</li></ul> <p>○地域住民と関わりながら就労できる環境の提供（障害者就労支援）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・障がいのある方が必要なサポートを受けながら就労する就労継続支援の場として施設を活用した。</li><li>・図書業務補助やカフェスタッフ、清掃作業員として障がいのある方が働くことで、地域にとって自然な関わり生まれ、働く本人にとっても、役割をもって働けるというモチベーションに繋がっている。</li><li>・支援を受けながら働くスタッフが、来館する小学生を見守り、悩みを聞くなど、立場や属性に関わらない自然な交流、支え合いも生まれている。</li></ul> <p>○SNSによる情報発信、活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Instagram：371 フォロワー、88 投稿（令和5年4月5日現在）</li><li>・facebook：125 フォロワー（令和5年4月5日現在）</li></ul>
--	---